

2025年度

「ヨーロッパの歴史・文化講座」

— 時代を創った人物

人物を創った時代 —



コミュニティふらっと
永福

元都立高校教師 伊藤 寿

4月24日 スタート
第4木曜日 13:00～15:00



2025年度「ヨーロッパの歴史・文化講座」年間計画（コミュニティふらっと永福）

回	日時		テーマ	内容
第1回	4月24日	木	ヨーロッパ文化の源流①ギリシャ神話 人間誕生と英雄物語	プロメテウスはなぜ過酷な罰をゼウスから与えられたのか、人類最初の女性「パンドラ」が人間への罰として造られたとはどういうことか、ペルセウスはどのようにしてメドゥーサを退治したのか、なぜヘラクレスはギリシア神話随一の英雄とされるのか、なぜ王女メデイアは復讐の鬼と化したのか
第2回	5月22日	木	ヨーロッパ文化の源流②キリスト教 新約聖書 磔刑、復活、昇天	「ヴィア・ドロローサ」（悲しみの道）の物語とはどのようなものか、十字架上で息を引き取る直前「成し遂げられた」とイエスが言ったのはなぜか、復活したイエスはどのように弟子たちの前に現れたか、イエス昇天後の「聖霊降臨」にはどのような意味があるのか
第3回	6月26日	木	百年戦争とジャンヌ・ダルク	1412年、フランスのロレーヌ地方ドンレミ村の農家に生まれたジャンヌ・ダルクは1431年火刑に処せられた。わずか19年の生涯だった彼女はなぜフランスの守護聖人になったのか、百年戦争終結にジャンヌ・ダルクはどのような影響を及ぼしたのか
第4回	8月28日	木	ルネサンス期フィレンツェと レオナルド・ダ・ヴィンチ	レオナルドが修業時代を過ごしたフィレンツェは、彼にどのような影響を及ぼしたか、1500年48歳でフィレンツェに戻ったレオナルドは、どのような活動をしたのか、マキャヴェッリやチェーザレ・ボルジアとどう関わったのか、なぜ再びフィレンツェを離れることになるのか
第5回	9月25日	木	バロックの都ローマとベルニーニ	ガリレオに地動説を撤回させた教皇ウルバヌス8世は盛期バロックのパトロンだが「ベルニーニはローマのために生まれ、ローマはベルニーニのために生まれた」と言った。ローマの魅力はベルニーニとどう関係しているのか
第6回	10月23日	木	フランス外交革命とポンパドゥール夫人	なぜ、フランスはハプスブルク家との長年の対立関係を解消して「外交革命」を行ったのか、それを実現したフランス側の中心人物であるルイ15世の寵姫ポンパドゥール夫人とはどのような人物だったのか、新たな同盟に基づいて行われた「七年戦争」は、世界地図をどのように塗り替えたのか
第7回	11月27日	木	ハプスブルクの都ウィーンとモーツァルト	6歳のモーツァルトの演奏をハプスブルク家の女帝マリア・テレジアは絶賛したが、9年後、演奏旅行を頻繁に行うモーツァルト一家を「乞食のように世の中を渡り歩いている」「無用な人間」と非難。ウィーン、ハプスブルク家はモーツァルトの人生とどう関わったのか
第8回	1月22日	木	イギリスとアヘン戦争	1840年に勃発したアヘン戦争は幕末の日本にも多大な影響を及ぼしたが、アヘン戦争はどのようにして起き、どのような結果をもたらしたか、イギリスにおける紅茶文化の普及、定着とアヘンはどう関わっているのか
第9回	2月26日	木	炎の人ゴッホとフランスのジャポニスム	ゴッホがアルルに向かったのは、「日本」にあたる南フランスに行くためだったが、ゴッホにとって「日本」とはどのような存在だったのか、ゴッホはどのようにして「日本」と出会ったのか、浮世絵の模写を通してゴッホは何を学ぼうとしたのか
第10回	3月26日	木	夏目漱石と20世紀初頭のロンドン	漱石は1900年10月28日にロンドンに到着し1902年12月5日にロンドンを出発している。漱石はロンドンで何を見、何を感じたのか、留学中に締結された日英同盟をどう受け止めたのか、漱石の近代化批判はどのようなもので、留学体験とどう関係しているのか